



こたけ

議会だより

第237号
令和3年11月1日
(2021年)

■発行 小竹町議会
福岡県鞍手郡小竹町
TEL 09496-2-1967
FAX 09496-2-1240
■編集 議会広報編集委員会
■印刷 マツオ印刷株式会社



こども園 運動会 練習風景

もくじ

- ◆ 主な議案 2
- ◆ 令和3年度補正予算 2
- ◆ 令和2年度決算 3
- ◆ 一般質問 4

9月定例会

(令和3年9月2日~令和3年9月13日 12日間)

お知らせ

**年賀状などのあいさつ状を出すことは
禁じられています。**

今年も余すところ2ヶ月となりました。

議員は年賀状・寒中見舞などのあいさつ状を出すことは、
公職選挙法で禁止されています。

9月定例会の主な議案

9月定例会は、9月2日から13日まで、会期12日間の日程で開かれました。

町有地の処分について

問 町有地（御徳地区／約3万平米）を民間企業へ売却することのことがあるが、購入目的、土地の形状、周辺環境への影響は。

答 運送業を営むための用地。土地の形状は、台形のような形となっている。

今回の売却による周辺環境への影響に関しては、前提として開発許可が必要になる。

よって、まずは開発許可申請を提出していただき、その中で十分に協議をしながら進めていきたい。

その他、林地開発にかかるか懸念をしていたが、林地台帳にて調査したところ、当該土地は林地には該当しなかった。

予算委員会の主な質疑

問 塩頭ため池浚渫測量設計業務委託料について、町内には20力所程のため池が存在しているが、今回塩頭ため池を選定した理由と今後の計画は。

答 塩頭ため池は、町内の主要な農業用ため池の一つであり、貯水量、受益面積が大きいため、選定した。

今後の予定は、県と調整して、本入ため池・権現堂ため池を予定している。南良津調整池は国土強靱化の交付金事業に乗せたいと考えている。

問 自治体DX推進に係るCIO補佐業務委託料の財源は。

答 特別交付税措置で2分の1の財源措置がある。

問 水田の担い手機械導入支援事業補助金で、どういう機械を購入するのか。

答 麦の生産に利用するトラクター一式。

問 公共施設等総合管理計画改定支援業務委託料の内容とその財源は。

答 平成28年度に策定した公共施設等の中長期的な総合的かつ計画的な管理や将来の人口構造に見合った公共施設等の整備、再配置を行うための計画。

今回、この計画を改訂するため委託料を計上している。費用については2分の1が特別交付税措置で措置される。

問 自治体DX推進に係るCIO補佐業務の委託先は、個人か企業か。

答 個人では、専門的なデジタル分野に得手、不得手があるため、企業に委託したいと考えている。

問 南良津川地区の内水対策工事について、宮若市と協議を行っているのか。

答 南良津地区と宮若市の鶴田地区における内水対策問題について、本町と宮若市、国土交通省の3者で協議を立ち上げている。

問 修学旅行キャンセル等支援費とは何か。

答 新型コロナウイルスの影響で、キャンセルになった場合に保護者の経済的な負担軽減を図るためのもの。

問 本町の子どもたちが新型コロナウイルスにどれぐらい罹患しているのか。新型コロナウイルス対策は今後どのように進めていくのか。

答 夏休み期間中に1名の陽性者が発生し、養生した。今は回復して、2学期から元気に登校している。感染予防のため、児童館、こども園、学童において、自動水栓の改修を行う。

令和3年度補正予算

一般会計 …… 16,611万円

特別会計

(国民健康保険特別会計)	21万円
(農業集落排水事業特別会計)	693万円
(公共下水道事業特別会計)	1,755万円
(後期高齢者医療特別会計)	59万円
(町立病院事業特別会計)	196万円
(水道事業特別会計)	収益的収入2,075万円
(")	収益的支出2,442万円



令和2年度 決算

(2020年度)



会計		歳入	歳出	差引
一般会計		56億 371万円	54億6,113万円	1億4,258万円
特別会計	国民健康保険	10億7,703万円	9億9,898万円	7,805万円
	後期高齢者医療	1億4,291万円	1億4,248万円	43万円
	農業集落排水事業	5,313万円	5,308万円	5万円
	公共下水道事業	3億 184万円	3億 179万円	5万円
公営企業会計	町立病院事業	収益的収入 4億2,798万円	収益的支出 5億6,621万円	△1億3,823万円
		資本的収入 7,612万円	資本的支出 7,611万円	1万円
	水道事業	収益的収入 2億3,034万円	収益的支出 2億1,423万円	1,611万円
		資本的収入 918万円	資本的支出 3,406万円	△2,488万円

決算委員会の主な質疑

問 減化学肥料や大豆等の補助金の拡充拡大を行い、直鞍アグリセンターで作られた堆肥を利用された方に対する助成金制度を創設しては。

答 堆肥、牛ふん等を利用される農家の方への助成制度は近隣市町村の動向等を調査し、検討する。

問 旧庁舎解体事業が計上されていたが、映画撮影に使用するという事で、解体作業が進んでいない。旧庁舎はいつ解体するのか。

答 映画の撮影場所に使いたいと依頼があったため解体を見合わせている。今年7月にオーディションが行われている。撮影が終了した後に解体する予定である。

問 農地の補償金について、時効が成立していると回答があったが、仮に時効が成立していない場合、どのような税務の取扱いをすべきか。

答 今後、補償の相談等があった場合、税務署との協議を行い、事情、補償内容、契約等から、その所得が課税なのか非課税なのかを示していたら、同じような疑念が生じないよう、慎重に事務を進める。

問 全体の工事請負費に關し、令和2年度の入札件数、随意契約件数は。

答 また、町内業者の受注回数が多くなるよう、施工箇所を分割して発注する考えはないか。

答 入札件数は40件、随意契約は260件。

問 公共工事が少なくなっている。工区割が難しい工事もあるが、発注前にできる限り、工区割をしていきたい。

答 観光振興費の負担金、補助金を支出しているが、どのような実績があるのか。また、報告はあるのか。

答 観光まちづくり協会が長崎街道まつりを実施した。実績報告書を提出いただいている。

問 公営企業、町の将来負担比率などが非常に危険な状況に迫ってきている。今後、どうするのか。

答 大規模事業については、単独事業を抑制する等、計画的に行う。

問 また、地方債の発行も含めて支出を抑制し、収入の確保を増やす努力をしたい。

答 町立病院は資金不足比率が高い水準のままである。新型コロナウイルスが経営悪化の主な要因とはいえないのではないかと。

問 町立病院の立て直しの展望はあるのか。

答 医師2名の状態がこの3、4年続いており、外来、入院患者が少しずつ減ってきている。

まずは、医師確保が大事。医師確保ができれば、立て直せると思っている。

そこが知りたい 一般質問

- 自然災害から生業を守るために
- 認定子ども園のバス運転手の処遇改善を
- 中央公民館に防犯カメラ設置を
- マイナンバーカードの健康保険証化制度の導入状況は

和田 立美 議員



問 お盆を挟む長雨で遠賀川の水位が上がリ、御徳一で牧場を営む牛舎も水に浸り、3年前と同じように被害を受けた。

親の代から続く乳牛での生業は3回も水の被害にあつたら廃業したいとの悲痛の思いであると訴えている。

内水排水を何とかならないのか。一時的でもポンプアップ出来ないか、町の対応は。

答 内水排水対策として、ポンプで強制排水する方法もある。

また、可搬ポンプ等で災害時のみ設置して稼働させることもある。

まず、何が出来るか、本町だけでなく、桶門・桶管の設置者である国（遠賀川河川事務所）と

協議させていただきたい。



問 会計年度任用職員制度が2020年から地方公務員法の改正に伴い、同一労働同一賃金が設立され、ある程度の身分保証がされた。

今年7月29日中間市で5歳の子どもがバスの中に9時間取り残された記憶はまだ新しい。バスの運転手を職務とする会計年度任用職員の処遇改善を強く要望する。

答 運転手のトイレ利用については、旧保育所内の職員用トイレと旧幼稚園事務室内のトイレを使用することになっている。

休憩室については、旧幼稚園側には和室があったが、利用されていないため、現在は教材などを置いていて、休憩室としては利用できない状況である。

施設整備も含め検討したい。

問 中央公民館には防犯カメラが設置されていない。

公用の場である以上、防犯カメラは必要ではないか。また、トイレの器具は公民館建築時から使用されている年代物である。これを機にトイレ改装に着手してどうか。

答 防犯カメラは、プライバシーに配慮して未設置であったが、不特定多数の方が利用される施設なのでカメラの設置も今後必要であると考え

る。ただし、あくまでも防犯上なので、事件等があった場合のみデータを使用するなどプライバシーに十分配慮したい。

トイレ改装については利用者の意向を確認しながら検討する。

問 コロナ禍の中、厚生労働省は病院等でマイナンバーカードを健康保険証代わりに使う制度を10月から本格運用するといっているが、本町でのオンライン資格確認システムを取り扱いはどうなっているのか。

マイナンバーカードの普及は町民の何割に達しているのか。

答 この制度により、被保険者はマイナンバーカードでの受診が可能となるほか、保険者や保険医療機関等は、最新の資格情報のオンライン化により、資格の適正化や事務処理の軽減が図られるなどの効果が期待されている。

運用可能な医療機関は直方・飯塚・田川地区で8月末日現在、5医療機関程度である。

本町のマイナンバーカードの交付率は8月末日現在で29.58%である。





●新型コロナウイルス感染者の現状と対策は



吉野 欽也 議員

問 全国の新型コロナウイルス感染者数は、急速に増加し、感染拡大となっており、医療提供体制はきびしくなっている。

答 鞍手郡内でも、毎日のように感染者が増加して、感染者数は151人となっているが、その内、小竹町の感染者数は何人なのか。

答 8月末の鞍手郡内の新型コロナウイルス感染者数は、151例でその内、小竹町の累計は37名となっている。
年齢別の感染者数は、把握していないが、機会を捉えて公表する。

問 入院、自宅療養、ホテル療養など、その状況はどのようなになっているのか。

答 嘉穂・鞍手保健環境事務所管内では、ホテル療養が6割、自宅療養が3割、入院が1割となっている。

問 65歳未満から16歳以上のワクチン接種は、集団接種と個別接種がなされているが、集団接種では予約に余裕があり、その要因を調査・分析しているのか。

答 町としては、ワクチン接種をはじめ、基本的な感染予防に努めるよう周知・啓発をしていく。

若年者はワクチンの風評や副反応などにより接種率が低くなっている。

問 小・中学校や認定こども園などに従事する者の、現在のワクチンの接種状況はどのようになっているのか。

答 小・中学校やこども園などの職員は、9月中旬に2回目のワクチン接種を終える。

16歳未満から12歳までは、町内の医療機関で予約受付を開始している。

問 妊婦さんが新型コロナウイルスに感染すると、重症化や早産等が多くなり、妊婦さんや同居家族等のワクチン接種を優先すべきではないか。

答 妊産婦に対しては、助産師による個別訪問などで接種の説明をしている。

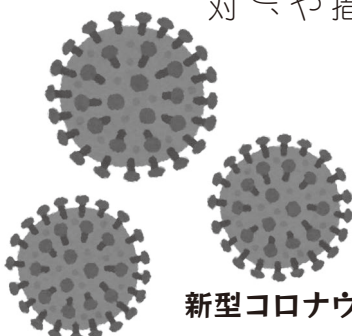
問 10代と10歳未満の新型コロナウイルスの感染症が拡大しており、小・中学校や認定こども園などでは、どのような新型コロナウイルスの感染防止策に取り組む計画なのか。

答 小・中学校の感染対策は、校長会等で協議し、また認定こども園については学校等の対応に準じて対策を講じている。

緊急事態宣言やまん延防止等の措置により、授業や行事の実施など、慎重に判断して対応する。

問 小・中学校などでは、授業などは通常どおり実施されており、運動会や文化祭などは、規模の縮小や日程を延期して実施するということだが、ワクチン接種の推移や感染者数の状況などを判断して、対応すべきではないか。

答 学校行事などは、子どもの一生の思い出となり、可能な限り実施できるよう調整を行う。



新型コロナウイルス

そこが知りたい 一般質問

●豪雨による水害・土砂災害防止の早期対策を ●波打太陽光発電所の早急な環境整備を

水谷 日出男 議員



問 御徳三区内の排水溝が8月14日の豪雨により、水量が増大、排水できず越水して、床下浸水、路面・側溝の破損、御徳く穎田線の道路冠水などの被害が発生した。

今後災害を防止するには、水路の新設または拡大、水量の調整など抜本的な対応が必要と考える。

早期に対策を講じていただきたい。

答 当町における集中豪雨が雨量500ミリを超えたといわれている。御徳三区では土砂流失が起き、路面の損傷、床下浸水など今までは違った箇所被害が発生している。

飯塚市と行政環境にある排水施設で、土砂流入により施設機能が失われ、

問 都市開発行爲として、土地所有者が御徳三区住宅団地上部に盛り土をしている。

常識では考えられない、災害の発生も考えない高さで、住民は毎日圧迫感、恐怖感で怯えている。

土砂災害防止の砂防ダム、砂防壁での対応はできないか。



被害が増加した。排水施設、水路の応急対策を行い、二次災害が起きないように対応を行う。



答 福岡県の土砂埋立て等災害発生防止条例に基づく、立入り検査、指導など権限の行使を強く求めている。

県が事業者に対し盛り土の勾配是正、損傷箇所盛りの土の撤去または転圧、調整池機能を含め指導を行っている。

土砂災害防止の砂防対策は、人為的に盛り土をしている地域は対象外で国及び県の事業には該当しない。

引き続き、県及び事業者に対応を求めていく。



問 御徳波打に設置されているメガソーラー発電所内や周囲の環境整備、特に雑草が生い繁り伐採がされていない。

年2回、申入れが無くても整備することになっていないが、今年はまだに除草していない。

早急に除草するよう、申し入れをしていただきたい。

答 除草作業は、年2回行うことに

なっており、1回目が悪天候で日程調整がつかず延びている。

9月初旬には、作業を行うことになっていない。

問 発電所警備は、どのような協定になっているのか。

今後の対応は、

答 警備体制に不備があった場合、強く改善要請を行っていく。



●災害時における感染者等の避難者への対応は ●権現堂ため池の水質検査の実施状況は

宮野 一男 議員



問 福岡県内では新型コロナウイルス感染症が急増し、1日の感染者数が1000人を超える日もあった。8月10日から18日までの大雨で本町役場の雨量計では547ミリを観測し、8月14日に避難指示が発令された。避難する場合は、自治体と保健所で新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者等の情報が共有されているのか。

答 本町の避難場所には中央公民館と小竹中学校の2カ所を14日の早朝より15日の朝まで開設した。2カ所の避難所ともプライバシーの確保と同時に、要配慮者である、高齢者、障がいのある方、妊婦さん等と一般の方それぞれ区分けしている。

自宅療養中の感染者には、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所が健康観察を行い、宿泊療養施設または、医療機関入院へと誘導案内することになっていて、濃厚接触者は、災害時に限り嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所と情報共有し、町が別の避難場所を案内し、他の避難者との区分けをする事になっている。

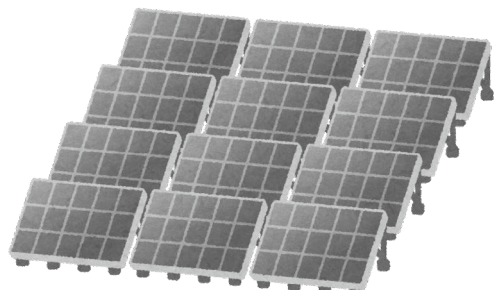
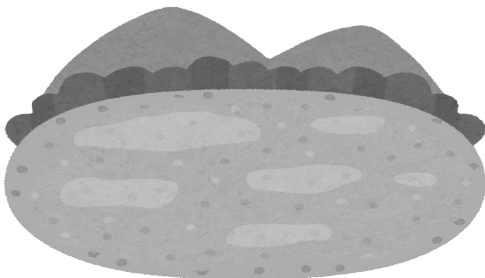
問 農業用ため池は、周辺に降った雨や雪が山の中で濾過され、きれいな水がため池に溜まり、溜まった水を水田に供給する。これがため池本来の姿である。権現堂ため池周辺は近年開発が進み、水質が危惧される。水質検査は定期的に行なわれているのか。

答 権現堂ため池水質検査は、上流部に太陽光発電所があり、そこからの雨水排水等による影響について、本町は町内の20カ所のため池を年に3カ所ずつ水質検査を実施している。

権現堂ため池は令和元年度に実施し、水質に問題がないことを確認している。

太陽光発電事業者と地元水利組合との協議に基づき、事業者が毎年水質検査を権現堂ため池について流入地を含む3カ所で行っている。

調査報告書には、有害物質等は検出されていないことが報告されている。水利組合や農業委員会には利害関係者という立場から公表していきたくない。



そこが知りたい 一般質問

●町立病院経営について今後の展望は

河島 大紀 議員



問 小竹町立病院は、数年前より資金不足の状態に陥り、毎年多額の負債を背負い続けている。

数年間かけて経営健全化計画を策定し、最終的には町より1億円の資金を投入したことにより、一時的に資金不足を免れた。しかし翌年には再び資金不足に陥った。新型コロナウイルスの影響があったことは認めるものの、町立病院は新型コロナウイルス以前から問題があることは言うまでもない。また前回の資金不足解消は、まさにその場しのぎの対策であったといえる。

行政として町立病院を守ることも必要だが、忘れてはならないことは、この負担を負うの

は私たち町民である。

病院経営に対し抜本的な決断・変化が必要な時期に来ているのではないかと。

町長の見解を伺いたい。

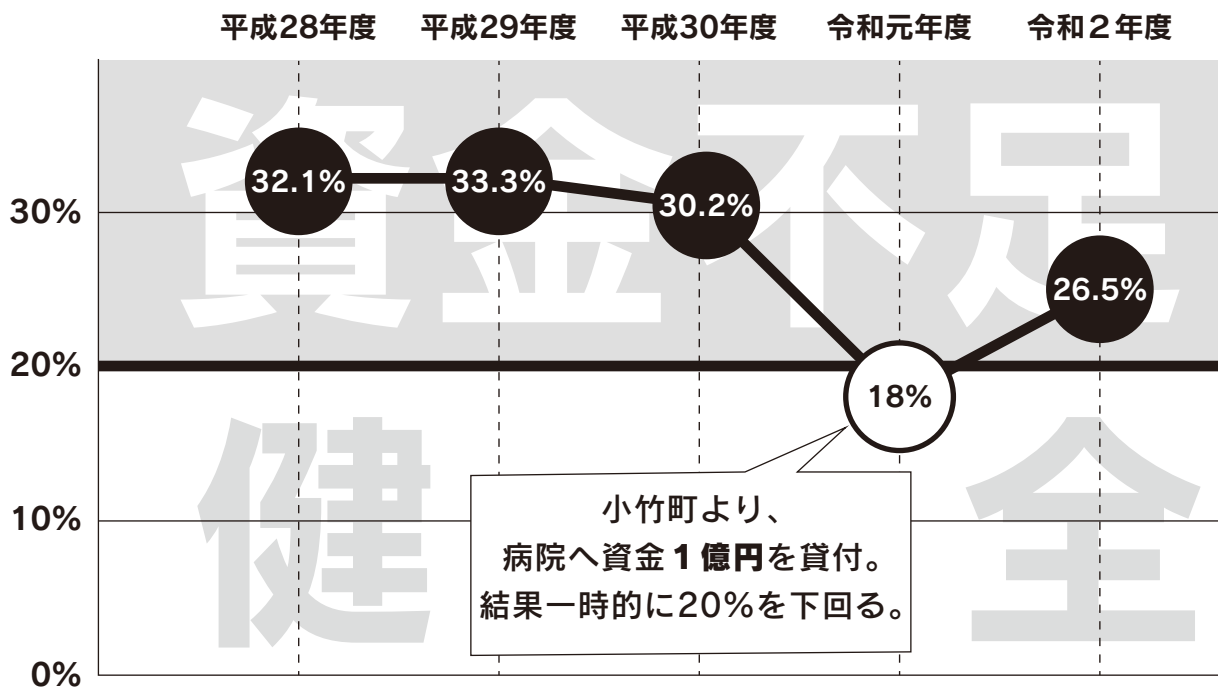
答 令和2年度決算では、経営健全化基準の20%を上回り経営健全化団体となった。

病院経営戦略はこの町にとって喫緊の課題である。

4月より新事務長を迎え、組織が活性化しつつあるという認識もある。

経営努力はもちろんだが、新型コロナウイルス後の新たな時代に向けた経営戦略が必要だ。

小竹町立病院資金不足比率の推移





●防災会議に女性の登用を
 ●女性消防団員を募集する考えは
 ●災害に対する女性リーダーの育成を

大安 美佐代 議員



問 女性を防災会議等に委員として入れなければいけないという大臣メッセージが出され、災害対策に女性の視点を組み込むための国及び地方公共団体の防災担当の体制強化が重要とされているが、小竹町の防災会議に女性の登用がなされているのか。

答 防災会議の委員は、国交省遠賀川河川事務所・直方県土整備事務

所・直方警察署・消防本部・郵便局や九州電力・役場職員の25名で組織を構成している。公共機関や行政機関など、各機関から選出された人が任命されるため、女性の登用をすぐに増やすことは難しい状況だが、本町としても委員の任命の在り方について検討していく必要がある。

なお、現在、女性の委員は2名となっている。

問 高齢者や障がい者、子どもがいる世帯等に日頃から災害に対する細やかな指導等をしていくためには、女性の消防団員の募集についても考えてはどうか。

答 女性消防団員の募集は過去に日本消防協会から配布された女性団員募集のポスターの掲示を行ってきたが問い合わせは全くなかった。

今後は、消防団内部でも女性団員の確保について、検討していただきたいと思う。

また、災害の心構えなど、日常的な住民の指導等は、各地区の自主防災組織と連携して行つて参りたい。



問 大きな災害が起きた時、避難所でのプライバシーや衛生の問題・性暴力や虐待の問題・物資の不足と管理・性別や年齢による活動の固定化等、多様な避難者の意見を踏まえるために、管理責任者や避難生活のルールづくり等に男性・女性の両方の声が必要である。そのために、災害に対する女性のリーダーを育成していくべきではないか。

答 災害に対する女性リーダーの育成は、地域社会は周囲との重要な交流の場である。地域住民を支えるいちばん身近なコミュニティであるが、人口の減少とともに、地域社会に参加する機会が減少している。男女共同参画のまちづくりを考え、つなぐことも、災害には、性別に配慮した対応が求められるため、防災活動へ自治会を通じて幅広く呼び掛けを進めていきたい。

災害時の避難場所等でも女性が運営に参加できる体制づくりが必要であるため、女性リーダーの育成につながるよう、今後とも努めていく。

議会が同意した人事

教育委員会委員

浅原喜代子氏 (再任)



住所 小竹町大字御徳 476番地1
(御徳一区4組)
任期 令和3年11月2日から (4年間)
生年月日 昭和22年9月17日

人権擁護委員候補者

早田真由美氏 (再任)



住所 小竹町大字御徳 1667番地1
(御徳二区13組)
任期 令和4年1月1日から (3年間)
生年月日 昭和40年11月13日

編集後記

私は4〜5年前から基礎疾患となる糖尿病を患い、食事療法、投薬治療を続けてきたが、口のいやしさに勝てず、かかりつけの先生(林医院)から2週間の教育入院を勧められ町立病院に入院した。糖尿病、高血圧、ヘビースモーカーと私生活を振り返るとやりたい放題、身勝手と褒められることはほとんどない。

16日間の教育入院であったが、院長をはじめ、看護師さんやリハビリの先生に助けられ無事退院できた。4ヶ月後の今は糖も下がり血圧も正常に戻っている。おまけにヘビースモーカーが(1日に3〜4箱)4ヶ月も禁煙が続いている。

現在は町立病院の院長先生の許可をいただき、かかりつけの林医院に通っている。12月で73歳、あと10年は元気で生きていきたい。コロナ禍の中で奮闘されている先生や看護師さん、医療従事者のみなさんに感謝、ありがとう。

(議会広報編集委員会) 委員 和田 立美

議会を傍聴してみませんか

議会の傍聴は、手続きが面倒と思われるかもしれませんが、いでしょうか。そうではありません。傍聴の手続きは、受付票に住所、氏名、年齢を記入するだけです。議会は、予算や条例をはじめ、行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

また、テレビ放映による傍聴は、手続きは不要で役場1階ロビー、町総合福祉センター、中央公民館、町立病院でできます。電話 ②11967

【議会傍聴案内図】

新庁舎 3階



上記図面は新庁舎の平面図です。

次回の定例会は、12月2日(木)に開会予定です。

※事情により変更される場合もありますのでご了承ください。